

第七十六回
帝國議會
貴族院

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案特別委員會會議事速記録第二號

付託議案(追加)

○昭和十六年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政)

○昭和十五年法律第七號中改正法律案(政)

○昭和十三年法律第二十三號中改正法律案(政)

○朝鮮事業公債法中改正法律案(政)

○朝鮮鐵道用品資金會計法中改正法律案(政)

○臺灣事業公債法中改正法律案(政)

昭和十六年二月八日(土曜日)午前十時十二分開會

○委員長(伯爵後藤一藏) デハ只今カラ會議ヲ開キマス、本委員會ニ昨日日本議場ニ於テ、昭和十六年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案、昭和十五年法律第七號中改正法律案、昭和十三年法律第二十三號中改正法律案、朝鮮事業公債法中改正法律案、ソレカラ朝鮮鐵道用品資金會計法中改正法律案、臺灣事業公債法中改正法律案、此ノ六案ガ本委員會ニ付託ニナリマシタノデ、是等ノ法案ニ付テ大藏大臣ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(河田烈) 只今議題ニ供セラレマシタル六案ニ付キマシテ説明申上ゲマス、先ヅ昭和十六年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案、本會議ニ於テ政府委員ヨリモ申上ゲマシタ通り、昭和十六年度一般會計歳出ノ財源ト致シマシテハ、現行ノ震災善後公債法及道路公債

法ニ依ル公債ヲ發行致シマスル外、歳入ノ不足ヲ補填致シマス爲十八億五千九百三十萬圓ヲ限リ公債ノ發行ヲ要シマスルノデ其ノ起債ノ權能ヲ得ル必要ガアルノデアリマス、即チ昭和十六年度一般會計ノ歳出總額六十八億六千三百二十餘萬圓ニ對シ、普通歳入四十九億三千四百四十餘萬圓ニ前年度剩餘金八千四百四十餘萬圓ヲ充當致シマシテ、尙現行ノ公債法ニ依リ調達シ得マスル震災善後公債ノ分三百五十餘萬圓及道路公債ノ分千六百四十餘萬圓ヲ差引キマシタ十八億五千九百二十餘萬圓ヲ調達スル爲、歳入補填公債十八億五千九百三十萬圓ヲ限リ起債スルノ必要ガアルノデアリマス、尙從來ノ例ニ依リマスレバ、昭和十六年度歳出豫算中若干ノ金額ハ翌年度ニ繰越サル、結果ニナルノハ已ムヲ得ナイノデゴザイマスガ、其ノ繰越額ノ財源タル公債ハ必ズシモ之ヲ昭和十六年度内ニ於テ發行スルノ必要ハアリマセヌノデ、之ヲ其ノ翌年度ニ於テ發行シ得ルコトトスルノヲ適當ト認メマシテ、本案ヲ提出致シタ次第デアリマス、其ノ次ハ昭和十五年法律第七號中改正法律案、是亦本會議ニ於テ政府委員ヨリ申上ゲマシタ通りデアリマシテ、造幣局東京出張所ノ廳舎、工場其ノ他ノ建物及其ノ附屬設備ノ新營擴張ニ要スル經費、是ハ昭和十五年度ヨリ同十六年度ニ互ル繼續費デアリマシテ、總額三百萬圓ニナツテ居リマシタ處、右新營擴張計畫ノ變更等ヲ爲スノ必要ガ生ジマシタル爲、今回之ガ所要經費總額百十五萬圓

ヲ追加スルコトニ致シマシタノデ、其ノ經費ニ充用スル爲造幣局資金ノ内ヨリ更ニ百十五萬圓ヲ拂ヒ出シテ、一般會計ニ繰入ルルコトト爲スノ必要ガアリマスル、右經費ノ追加及事業ノ繰延ヲ爲ス爲右繼續費ノ既定年限ヲ一箇年度延長致シマスル關係上、造幣局資金ノ繰入年度モ亦一箇年度延長スルノ必要ガアリマス、仍テ本法律案ヲ提出致シタ次第デアリマス、次ニ昭和十三年法律第二十三號中改正法律案ニ付テ申上ゲマス、昭和十三年法律第二十三號第一條ノ規定ニ依リ關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太廳ノ各特別會計ヨリ、其ノ租稅收入ノ一部ニ相當スル金額ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入ル、コトニ相成ツテ居リマスルガ、今回新タニ關東局特別會計ニ於ケル煙草稅及臨時利得稅ノ昭和十六年度以降ノ増徴ニ因ル增收額ト、特別法人稅ノ創設ニ因ル收入額トノ一部ニ相當スル金額ヲ、毎年度豫算ノ定ムル所ニ依リ臨時軍事費特別會計ニ繰入ル、コトニ致シマシタル處、右ノ内臨時利得稅ト特別法人稅ノ分ニ付キマシテハ、現行ノ昭和十三年法律第二十三號第一條ノ規定ニ依リ、之ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入ル、コトヲ得ルノデアリマスルガ、煙草稅ノ分ニ付キマシテハ其ノ規定ガアリマセヌノデ、右法律中改正法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、其ノ次ハ外地ノ事業公債法、先ヅ朝鮮事業公債法中改正法律案ニ付テ申上ゲマス、朝鮮總督府特別會計ニ於ケル既定繼續費鐵道建設及改良費、

道路修築改良費及港灣修築改良費ノ追加額三億二千六十餘萬圓ノ内、三億三百四十餘萬圓竝ニ港灣修築改良費ノ既定額中普通財源ニ依リ豫定ナリシモノノ内千四百四十餘萬圓、合計三億千七百六十餘萬圓ニ付キマシテハ、同特別會計歳計ノ現情竝ニ其ノ經費ノ性質ニ顧ミマシテ、之ヲ公債財源ニ依ルコトト致シマシタル處、鐵道建設及改良費及送電施設費ノ既定額ノ内、公債財源ニ依ルモノデアッタノヲ普通財源支辨ニ振替ヘマシタルモノ等ガ四千五百五十餘萬圓ゴザイマス爲、兩者ヲ差引致シマシテ二億七千二百二十萬圓ガ現行ノ朝鮮事業公債法ニ依ル公債ノ發行限度ヲ増加スルノ必要ガアリマスノデ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、次ニ朝鮮鐵道用品資金會計法中改正法律案提出ノ理由ハ、朝鮮鐵道用品資金ハ、現行ノ朝鮮鐵道用品資金會計法第二條ノ規定ニ依リマスレバ、三百萬圓ト相成ツテ居ルノデアリマスルガ、朝鮮ニ於ケル鐵道事業ノ増大ニ伴ヒマシテ、同會計ニ於ケル歳入歳出モ亦著シク増加致シテ參リマシタ狀態デアリマス、從ヒマシテ從來ノ資金額ヲ以テ致シマシテハ、本會計本來ノ機能ヲ發揮スルコトガ著シク困難ヲ感ズル、サウ云フ狀態デゴザイマスノデ、本資金ノ法定額ヲ千萬圓ニ増額致シマシタ、其ノ不足額ハ朝鮮鐵道事業ノ狀況ニ應ジマシテ、財政ノ許ス範圍ニ從ヒマシテ、漸次朝鮮總督府特別會計ヨリ之ヲ繰入レルコトト致シテ居リマス、昭和十六年度豫算ニ付テハ此

ノ千萬圓ノ内經費二百萬圓ヲ計上致シ、二百萬圓ヲ繰入レルコトニ致シテ計上致シテアルノデゴザイマス、仍テ本法律案ノ改正ヲ提出致シテ次第アリマス、最後ニ臺灣事業公債法中改正法律案、是ハ臺灣總督府特別會計ニ於ケル昭和十六年度豫算ニ新規ニ計上致シタル鐵道改良費並ニ既定繼續鐵道建設費、停車場改良費及港灣費ノ追加額ハ、總計千六百八十餘萬圓ニナッテ居リマス、其ノ内四百四十萬餘圓ニ付キマシテハ、同特別會計ノ歳計ノ現狀並ニ其ノ經費ノ性質ニ顧ミマシテ、之ガ財源ヲ公債ニ依ルコトト致シマシテ、處方鐵道建設費、停車場改良費及港灣費ノ既定額ノ内、節約ノ趣旨ヲ以テマシテ不用ト致シタモノ等ガ六十萬圓バカリアリマスノデ、之ヲ差引キマシテ三百九十萬圓ダケ現行ノ臺灣事業公債法ニ依ル公債ノ發行限度ヲ増加スルノ必要ニ至リマシタノデ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、ドウゾ慎重御審議ノ上御賛成ヲ御願ヒ致シマス

○委員長(伯爵後藤一藏) 御諮リ致シマスガ、此ノ六案ニ付テノ全部ノ質問ヲシテ戴クコトハ混雜ニナルカト存ジマスルカラ、内地ト外地トノ區別ヲ致シマシテ、先ヅ昭和十六年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案、ソレカラ昭和十五年法律第七號中改正法律案、此ノ二案ニ付テダケノ御質問ヲ先ニ願ッテ、ソレカラ外地ノ法案ニ移リタイト思ヒマス

○子爵野村益三君 此ノ公債政策、即チ公債ノ發行並ニ殘高トカ、將來ノ公債ニ對スル政府ノ御考ト云フヤウナコトハ、此ノ前ニ承ッテ大體了解シタノデアリマス、デ今日私ガ承リタイノハ、貯蓄ノ獎勵ノ問題、是

モ參考書類デ略、大要ハ了解シテ居リマス、併シ此ノ頃大分強制貯蓄ト云フヤウナ聲ガ起ッテ、之ニハ相當據リ處ガアルト思ヒマス、勿論政府ニ於カレテモ引續イテ貯蓄ノ獎勵ニハ努力サレテ居リマセウガ、何カ從來ノ施設ノ上ニ斯ウ云フ風ニヤッテ見タラ宜カラウト云フヤウナ、追加スルヤウナ御考ガアルノカドウデセウカ、其ノ點ヲ實ハ承リタイノデアリマスガ、矢張り順序トシテ貯蓄獎勵ノ現在執ッテ居ラレル所ノ方策並ニ現在ノ貯蓄ノ狀態ト云フヤウナ所ヲ承ッテ、サウシテ只今申シタ尙此ノ上ニ何等カ加ヘラルベキ方法等ガオアリニナルノカト云フコトヲ、一通リ承ッテ見タイト思ヒマス

○國務大臣(河田烈) 野村子爵ノ御質問ハ、先ヅ貯蓄ノ狀況ヲ聽イテカラ、更ニ是カラ先キ何カ考ガアルカト云フ點ニ及ビタイト云フ御話デゴザイマシタガ、私ガ申上ガマスノハ、貯蓄ノ最近ノ狀況ハ當該ノ主務局長カラ申上ダガ方宜カラウト思ヒマシテ、今呼ビニヤッテ居リマスガ、大體ニ於テ私ガ承知シテ居リマス程度ニ於テ申シマスト、本年度ノ貯蓄目標ハ百二十億ト云フコトデ進ミマシテ、十二月末ニ既ニ百億ヲ突破致シテ居リマシテ、此ノ三月一杯デ百二十億ノ貯蓄目標ハ優ニ達成セラレル見込ニナッテ居リマス、此ノ貯蓄獎勵ノ方法ニ付キマシテ本年度執ッテ居リマス策ハ、本年度ハ例ノ報國債券ガ新タニ出マシタノガ目新シイモノデ、其ノ他ハ矢張り講演、協議會等ヲ開イテ、全國ニ說イテ歩イテ居ルノデゴザイマスガ、大分各地方ニ於テハ熱心ニ市町村等デモヤッテ呉レマスノデ、幸ニ斯ウ云フ成績ヲ得テ居ル次第ナンデアリマス、扱、ナカノ丁度只今御話ガ出マシタ貯蓄ト

云フコトニ付テハ、強制貯蓄ナドト云フ議論モ往々聞キマスデスガ、私ノ考デハ強制貯蓄ト云フコトハ、ドウカスルト却テ通貨ノ死藏ト云フヤウナコトヲ惹キ起ス虞ガアリマスノデ、今日ノ場合強制貯蓄ト云フ時期デハナイト思ッテ居リマス、強制ト云フ制度ハ採リタクナイト考ヘテ居リマス、然ラバドウ云フ方法ニ依ルカ、御説ノ通り今說イテ廻ル位ノコトデハナカノ、效果ガ段段薄クナルカト云フヤウナ心配モアリマスノデ、今日各地方デ以テ貯蓄組合ト云フモノヲ、強制デハゴザイマセスガ、組織シテ居ルノガ五十萬ヲ超シテ居リマス、是ハ眞面目ニ發達スレバ宜シイコトデ、相當皆熱心ニ今ヤッテ居リマスケレドモ、或ハ一定ノ法規ノ根據ニ依リマシテ其ノ確實性ヲ保タセナイト、マア何シロ金錢ヲ預ッテ居ルコトデゴザイマスカラ、是ハ取締デナシニ獎勵モシ、又法規ニ根據ヲ持チマシテ或程度ノ監督ヲシマセスト間違ガ起ル、一遍サウ云フ所ニ間違ガ起ルト、モウ貯蓄組合ハ駄目ダト云フコトニナッテ、勇氣ヲ沮喪サセル虞ガアリマスノデ、其ノ消極的ノ意味ト、ソレカラ積極的ニハ其ノ貯蓄組合ヲ法制化致シマシテ、同時ニ其ノ貯蓄組合ヲ通ジテ貯蓄シタル場合ニハ或程度ノ免稅等ノ特典ヲ與ヘル、只今御承知ノ通り普通ノ貯蓄銀行ト、ソレカラ信用組合ハ、三千圓以下ノ貯蓄預金ニ對シテハ所得稅ヲ免除致シテ居リマス、ソレニ似寄ッテ方法ヲ加味致シマシテ、貯蓄組合ヲ通ジテ貯蓄ニ付テハ特ニ免稅等ノ特典ヲ與ヘル、便宜ヲ與ヘル、斯ウ云フ積極的ノ方策ヲ加味致シマシテ、國民貯蓄組合法ト云フモノヲ作リタイト思フノデアリマシテ、大體出來テ居リマスデスガ、只

今條文ノ整理デ、マダ提出ニ至リマセスガ、多分茲一兩日中ニ衆議院ニ提出ノ運びニ至ルダラウト思ヒマス、之ニ件ヒマシテ郵便貯金法、是ハ先般本院ニ於テモ既ニ御審議中ト思ヒマスガ、郵便貯金ノ最高限度ハ二千圓ニナッテ居リマスガ、三千圓ニ引上ゲル案ヲ提出致シテ居リマス、同時ニ最低額ハ今迄十錢デアッタモノヲ五十錢ニ上ゲマシテ、五十錢以下ノ分ハ昔ノ切手貯金ト云フモノヲ又復活シテヤルコトニナッテ居リマス、是ハ最高ノ方ヲ三千圓ニ上ゲマスノハ、二千圓ノ人ガ更ニ三千圓迄貯蓄出來ル、郵便切手ヲ利用スルコトガ出來ルト云フコトハ郵便貯金ノ獎勵ニナルト思ヒマス、下ノ方ヲ繰上ゲルノハワカシイト思ヒマスケレドモ、御承知ノ通り郵便局ハ、三等郵便局ト云フ名前ハナクナッタサウデアリマスガ、此ノ郵便局ノ窓口ト云フモノハ非常ニ混ミマシテ、「サラリーマン」等ガ朝ノ出勤間際ニ寄ッテ行クト云フコトハ、迎モ捌キ切レナイノデ、ツイドウモ金ヲ持ッテ居ルト、金ヲ懷ニ入レテ其ノ儘貯金セズニ行ッテシマフト云フヤウナコトモアリマスノデ、非常ナ手數ヲ整理スルト云フ爲ニハ、モウ五十錢以下ノハ五十錢ニシマシテ、其ノ代リ元ノ切手貯金ト云フモノヲ復活致シマスレバ、餘程窓口ノ整理モ出來ラダラウ、サウ云フヤウナ趣旨カラ致シマシテ、郵便貯金法ノ改正ヲ致シマシテ、兩者最高限ト最低ノ方ヲ併セテ貯金ノ獎勵トシテ效果アルモノト見テ居ルヤウナ次第ナンデゴザイマス、法律案ト致シマシテ只今出シマシタノハ其ノ二案デゴザイマスガ、第三ニ小額貯蓄債券、報國債券、只今ノ小額貯蓄債券ヲモウ少シ限度ヲ下ゲテ、是ハ法律案ヲ出シマセ

スデ實行致スノデアリマス、金額ヲ下ゲテ
零細ナ資金ノ蒐集ニナルカト考ヘテ居リマ
ス、報國債券ノ發行ノ仕方ヲ、數ヲ殖シマ
シテ多額ニ大キナ當リ籤デ以テ偶ニ發行ス
ルヨリ、引續キ連續的ニ發行シタ方ガ宜イ
カト思ッテ、今サウ云フコトヲ考ヘテ居リ
マス、是ハ別ニ法律ノ改正案ヲ要シマセス
ノデ……、報國債券モ初メ出タ時ニハチヨッ
ト人氣ガアリマシタガ、同ジコトヲヤッテ
居リマシタノデハ幾ラカ熱ガ醒メマスノデ、
發行ノ仕方ヲ多少新味ヲ加ヘマシテ、又購
入者ヲ殖スコトニ致シタラドウカト考ヘテ
居ル際デアリマス

○子爵野村益三君 大臣ガ御臨席デ、ヨイ
機會デアアルノデ申上ゲテ置キタイト思ヒマ
ス、殷賑産業ニ從事シテ居ル方ノ從業者、
之ニ對シテ特別ノ考慮ヲ拂ヒ、私カラ言ヘ
バ強制ト云フコトハドウモ面白クアリマセ
ヌガ、強制ニ近イ貯蓄ヲサセルト云フコト
ハドウシテモ是ハ考ヘナクテハナラス、サ
ウ云フ方面ハ大藏省ヨリモ寧ろ商工省、或
ハ厚生省ノ領分ニ入ルカモ知レマセヌ、サ
ウ云フヤウナ一體話ヲ大藏省ソレ自身ガ發
案サレルト云フコトハ私考ヘマセヌガ、外
ノ方面カラ影響スル所、經濟的ニモ或ハ社
會的ニモ影響スルコトガ多イノデ、サウ云
フ方面ノ貯蓄ヲヨリ以上の確ニヤラナケレ
バナルマイト云フヤウナ一體相談トカ、協
議トカト云フモノガ大藏省ノ方面ニ向ッテ、
或ハ次官會議デモ宜イ、サウ云フ場合ニ外
カラ出テ居リマスカドウデスカ、無論大藏
省自身ガ發案サレルト云フコトハナイト思
ヒマセケレドモ、私ハサウ云フ方面ニ力ヲ
盡サレルノガ最モ機宜ヲ得タモノト思フノ
デアリマスガ、ソコノ内容ハドウデスカ

○國務大臣(河田烈君) 只今ノ野村子爵ノ
御話ノヤウナコトハ、實ハ寧ろ大藏省カラ進
ンデ相當研究致シテ居リマス、今強制ト云
フコトデナイカト云フ御話デゴザイマスガ、
此ノ國民貯蓄組合法ノ中ニハ地域的、ソレ
カラ各工場等ニ或人數ヲ限リマシテ、組合
ヲ作リマス、ソレニ對シテハ今申上ゲタ唯
一人ヤ二人、三人デ組合ヲ作ッテ直チニ免
稅等ノ特典ヲ及スト云フ譯ニハ參リマセヌ
ノデ、工場等ニ、何人ニナッテ居リマスカ志
レマシタケレドモ、數十人以上ノ組合員ナ
ラバ、其ノ組合ヲ貯蓄組合ト認メテ便宜ヲ
考ヘル、數十名、サウ云フ人數ハ地域的ニ
モ認メマスシ、又工場、會社別ニモ認メル
コトニナリマス、サウスルト殷賑産業ナド
ハ二ツノ組合ニ別々ニ入ッテモ構ハナイ、サ
ウ云フ風ナ仕組ニヤッテ居リマス、併シ今日
只今申上ゲマシタ五十萬カラノ貯蓄組合ハ
殆ド強制デハゴザイマセヌガ、矢張り、一
會社、一工場等ニ於キマシテハ、殊ニ殷賑
産業ノ方ニ力ヲ用ヒテ居ルノデアリマスガ、
色々理由ヲ付ケマシテ引出スコトハドウモ
ヤッテ居ルヤウデアリマスカレドモ、強制貯
蓄ト云フ程デハアリマセヌガ、矢張り殆ド
俸給ヲ支拂フ時ニ差引イテヤルト云フヤウ
ナ仕組、今五十萬カラゴザイマサル貯蓄
組合ハ相當ニ行渡ッテ居ルコト思フノデ

アリマス、併シソレハ唯單ニ貯蓄組合ニ入
リマス、例ヘバ通帳ノ問題ガ一番面倒デ
アリマス、矢張り貯蓄組合ハ今ノ法制デハ
個人々々ガ債主ニナッテ居リマスノデ、通帳
ハ個人々々ニナッテ居リマス、ソレヲ今度ハ
組合、個人々々ノ組合貯金ト申シマスカ、
其ノ手數ヲ掛ケナイヤウニスル途ハナイカ、
是ハモウ詳細ノコトハ確カ勸令ニスルコト

ニナッテ居リマスガ、サウ云フ風ニ致シマス
レバ一層殷賑産業等ニ貯蓄組合ヲ利用スル
途ガアルダラウト、斯ウ考ヘテ居リマス、
今ハ貯蓄銀行アタリノ免稅ハ貯蓄預金ハ三
千圓ニナッテ居リマス、三千圓ヲ超過致シマ
スト分類所得稅ガ課セラレル、サウスルト
一人ノ人ガ通帳ヲドッサリ持チマシテ、一
口三千圓ニナリマスト次ノ外ノ會社ニ移ル、
免稅ノ意味ノヤウナヤリ方ラスル弊モ多少
アリマスノデ、或店ニ付キマシテ貯蓄預金
者ノ名寄帳ミタイナモノヲ作ラナイト分ラ
ナクナル、トハ申スモノノ、店ノ者ニ付テ
名寄帳ミタイナモノニシマシテモ、ソレヲ
三千圓以下ニシテ、外ノ銀行預金ニ貯蓄ヲシ
テ二ツニ利用スレバ矢張り免稅ノデ、免
稅ノ取締ト云フ點カラ云ヒマスト餘リ意味
ハナイノデ、貯蓄三千圓位ノ所得分類所得
稅ヲ免稅ダ免稅トサウヤカマシク言フヨ
リハ寧ろ少シ位ナラ免稅ニナリマシテモ、
三千圓ノ貯蓄ノ出來ル方ガ宜イデヤナイ
カ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居リマス、今度貯蓄
組合ニ於キマシテモ、從ッテ一個人ニ付テ或
ル制限ヲ加ヘマシタ、チヨット數字ガ間違ヒ
マシタラ後ニ法案ガ出マシテカラ訂正致シ
マスガ、貯蓄組合ヲ通ズル所ノ貯蓄預金ニ
付テハ貯蓄銀行、信用組合ト思ヒマスガ、
其ノ限度ガアリマシテ五千圓、普通銀行ハ
三千圓、信託會社ハ幾ラデスカ、大體普通
銀行ハ三千圓迄、貯蓄組合ヲ通ズル預金ハ
三千圓迄、貯蓄銀行ニ付キマシテハ五千圓
迄ノ間ハ分類所得稅ヲ免除スルト云フヤウ
ナヤリ方ヲシテ、地域的ニ此ノ貯蓄組合ニ
入ッテ居リマシテ、貯蓄銀行ノ免稅ヲシテ、
今度ハ會社デ付テ貯蓄ヲスル、ソコデ又

五千圓、斯ウ云フ風ニシテモ差支ナイ、免
稅

ヲ免レルコトニナルカモ知レマセヌガ、貯
蓄、預金ノ稅ヲヤカマシク言フヨリハ、貯
蓄ヲ獎勵スルコトガ風教上ニモ宜カラウ、
サウ云フ風ナ考ヲ持ッテ居リマス、ソレカラ
殷賑産業ニ付キマシテハ、色々ヤカマシイ
議論モアリマスノデアリマスカレドモ、勞
働者年金保險法ト云フノヲ、是ハ事業者ノ
方デナカ、ヤカマシイ異論モアリマシタ
ノデスカ、此ノ場合矢張り必要ト認メマシ
テ提出スルコトニナッテ居リマス、是ハ其ノ
目的ハ社會保險デアッテ、直接ニ貯蓄ト云フ
意味デナク、労働者ガ將來ノ生活ノ安定ヲ
得マセヌノデ不安ヲ感ジテ居ルト云フコト
ガ、有能ナル労働者ヲ長ク其ノ労働ニ留メ
難イト云フ一ツノ原因ト認メテ居リマス、
殊ニ炭礦労働者ノヤウナ者ハ、體ガ或程度
經ツト癯人ニナルノデ、働ク途ガナクナル、
取ツタ金ハ酒ヲ飲ンダリサウ云フコトニ使ッ
テ、老年ニナルト癯人ニナッテシマフト云
フヤウナコトデハ、風教上ニモ宜シクアリ
マセヌカラ、且又生活ノ安定ガ與ヘラレナ
イト云フコトカラ、労働者年金制度ヲ社會
保險ノ一ツトシテ出スコトニナッテ居リマ
ス、是ハ目的ハ全ク社會保險ノ見地カラ必
要ト考ヘテ、今日ノ場合殊ニ炭礦労働者ヲ
長ク其ノ地位ニ安心シテ生活セシムルト云
フ見地カラ、社會施設トシテ提出スルノデ
ゴザイマサルケレドモ、是ハ間接ニハ労働
者ガ其ノ爲ニ掛金ヲ致シマスカ、斯ウ云
フ或程度ノ殷賑産業等ニ付テハ、特ニ掛金
デアリマス、直チニ貯金ト云フコトデハ
アリマセヌケレドモ、保險ノ掛金ガ貯金セ
ラレルト云フ效果ハアルモノト認メマシテ、
單ニ社會政策ト云フ直接ノ問題デナク、間
接ニハ貯蓄獎勵ニナルト思ッテ私共贊成シ

接ニハ貯蓄獎勵ニナルト思ッテ私共贊成シ

テ居ル次第アリマス

○子爵野村三君 只今ノ御話デ私ハ非常ニ安心致シマシタ、殊ニ大藏省當局ガ社會的ニモ御考ヲ向ケラレタト云フコトニ付テハ、一層欣快ニ堪ヘナイノデアリマス、ドウカ一ツ此ノ上トモニサウ云フ方面ニ御活動ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラサツキノ貯蓄ニ關スル現況ヲ、ドナタカ御説明下サイマス

○委員長(伯爵後藤一藏君) ソレハチヨット後ニシテ下サイ、大臣ハ衆議院ノ方ヘ行カケレバナラヌサウデアリマスガ、大臣ニ御質問ノ方ハ此ノ際ニ願ヒマス

○有賀光豐君 私、卑近ナ御尋ナリ、希望ナリ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、此ノ政府ノ收納金例ヘバ税金トカ、或ハ公債ニ關聯致セバ公債ヲ買フ代金、是ハ皆現金デ扱ッテ居ラレル、此ノ税金或ハ公債ノ代金ト云フモノニ小切手ヲ御利用ニナツテハドウカト思フノデアリマス、サウ致セバ官廳ノ方デモ納入者モ非常ニ兩方便利デアリマスルシ、又通貨ノ節約ノ上ニ非常ナル利益ガアリハセヌカト斯ウ思フ、ソレデ小切手ハ勿論百ガ百迄渡ラヌ場合ガアリマス、中ニハ不渡モアリマスガ、ソレハ勿論不渡ノ場合ハ收納ヲ完了致シマセヌノデスカラ、政府ニ掛ケル損害ハナイノデ、即チ小切手ヲ扱ヒマシテモ危險ハ毫モナイ譯デアリマス、銀行ニ致シマシテモ、各種ノ銀行ガアリマスケレドモ、今申上ゲマシタ通り渡ラヌ場合ニ於テモ、チットモ政府ニ危險モ損害モナイ譯デアリマス、近來特ニ又金融機關ノ監督ト云フコトモ非常ニ嚴密ニオヤリニナツテ居ル譯デアリマスカラ、サウ云フ小切手ヲ御利用ニナルト云フコトガ非常ニ便利デヤ

ナイカ、例ヘバ郵便局ニ公債ノ代ヲ拂ヒマスニモ、一々現金ヲ持つテ行カケレバナラヌ、或ハ稅務署ニ行キマシテモ、サウ云フヤウナコトガ或ハモウ既ニヤツテ居ラレルカドウカ存ジマセヌガ、或區役所デハ小切手ヲ取ツテ呉レル所モアリマス、東京デ……或ハ便宜取ツテ呉レルカドウカ存ジマセヌガ、取ツテ呉レル所モアルヤウデアリマス、サウ云フコトニ付キマシテ御扱ヒ上モウ既ニ其ノ便宜ヲ開カレテ居ルノカ、或ハナケレバ御開キニナツテハドウカ、又開ケバ斯ウ云フ不都合ヲ生ズルト云フヤウナ御懸念デモアリマスノデアリマスカ、ソレニ付キマシテ御意嚮ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(河田烈君) 有賀君ノ小切手ヲ利用シタラ宜カラウト云フコトニハ、私モ其ノ御趣旨ニハ同感デゴザイマス、詳シイコトハ今記憶シテ居リマセヌガ、小切手收納ヲスル途ハ或場合法制上認メテ居ツタト記憶シマス、併シ御説ノ通りサウ一般ノデハゴザイマセヌ、ソコデ私モ實ハ豫、小切手ヲ以テ納稅ヲサセタラ宜カラウカト云フコトヲ考ヘタコトモアルノデアリマスガ、是ハ郵便局トノ關係ガ到ル處ノ、津々浦々ノ郵便局デ收稅スル場合ニ、是ハ振替貯金デ納稅スルノハ市街地デアツタカ知レマセヌガ、郵便局ガ非常ニ不便デ、困難ガサウデス、交換手續ガ面倒ナノダサウデ、郵便局ガ小切手ヲ取ツテ呉レナイト云フコトヲ前提トスルト、小切手ノ方法ヲ設ケテモ、一般的ニハ納稅者ニサウ便宜ヲ與ヘラレナイト云フコトニナリハセヌカ、併シ郵便局デ全然交換手續ガ出來ナイト云フコトモナイノデアリマスカラ、若シ其ノ邊ヲ解決シテ成ルタケ小切手ヲ利用スルコトハ私モ有賀君ト御同感

デ、少シ餘談ニ互リマスケレドモ、今日ノヤウナ情勢ノ場合ハ單リ納稅バカリデナク、國民一般ガ小切手ヲ利用シタラドウカト云フコトハ私モ考ヘテ居ルノデアリマスガ、普通當座ヲ開イテ、「チエック」デ會計スルト云フ階級ハ、人間カラ云フト少イダラウ、併シ是ハ遠慮スルコトハナイ、段々サウ云フ風ナ習慣ヲ付ケマスト、現金デシナイデ皆銀行デヤレルト云フコトニナツテ來ルカラ、流通貨ノ節約ニモナリマスシ、又資金ガ既ニ一ツ所ヘ集ツテ來ルト云フ便宜モアリマスノデ、是ハ一ツ一般的ニ小切手ノ流通ヲサセタイモノダト思ヒマス、處ガ、同ジ政府ニ居リナガラサウ云フコトヲ言フト叱ラレルカ知レマセヌガ、昨今ノ傾向ハ逆ナンデゴザイマス、是ハ現金ヲ使フ場合ガ多イ、是ハ物資ノ配給等ガ切符制ニナリマシタノデ、店ニ行ツテモ現金デセイト云フコトニ段ナツテ居ルヤウナ傾向ニナツテ居ルと思ヒマス、兌換券ノ發行高ガ前年ニ比シテ十億殖エテ居ルト云フ主タルモノハ、ソコニアルノデハナイカト思ヒマス、此ノ傾向ハ却テ私共ノ希望スルヨリ逆ニナツテ居リマス、寧ろ當座預金デナク、現金デ持ツテ行ク、ソレデナケレバ非常ニ不便デアルト云フヤウナ、社會狀態ガソツチヘ向フノハ甚ダ遺憾ト思ヒマス、彼此考ヘマシテ、大體ニ於テハ有賀君ト私共同ジヤウナ考ヲ持ツテ居リマス

省ノ監督ヲ受ケテ居ルヤウナ次第デアリマス、殊ニ市街地信用組合ハ非常ニ信用組合中デモサウ云フ金融方面、竝ニ此ノ時局下ノ産業ノ資金供給ト云フヤウナ點ニ於テ、非常ニ重要ナ地位ヲ占メテ居ルノデアリマシテ、此ノ公債ノ消化、貯蓄ノ獎勵等ニ付テモ非常ニ重要ナ機關デアルト思ヒマス、就キマシテハ之ヲ農林省ヨリ離シテ、市街地信用組合ハ特ニサウ云フ地位ニアルモノデスカラ、大藏省ノ方ノ專管ニナサツテハ如何デゴザイマセウカト云フコトヲ常々思ツテ居ルノデスカ、之ニ對スル大臣ノ意見ヲ伺ヘレバ結構デアリマス

○國務大臣(河田烈君) 信用組合特ニ市街地信用組合ハ、金融機關トシテ多クノ役目ヲシテ居ラレルト云フコトハ十分承知シテ居リマスガ、其ノ爲ニ兩官廳ノ共管ニナツテ居リマス、保險トカ金庫トカ、サウ云フ金融關係ノ方面ニ今共管ノ手續ヲ受ケテ居リマスノデ、仕事ノ性質上ドチラ大キク占メルカト云フコトハ、ナカノハハキリト一刀兩斷ニ決メラレナイ所モアリマスノデ、信用組合トシテハ大藏省モ十分監督ヲ致シ、失禮ナガラ利用モ致シマスノデ、直チニ專管ニスルト云フコトニ付テハ、色々議論モアリマスケレドモ、何レサウ云フ時機ガ到來スルカモ知レマセヌガ、今直チニドウカト云フコトハ分リ兼ねマス

○諸橋久太郎君 只今ノアレデハ、既ニ專管ニナサル時機ガ到來シテ居ルノデハナイカト思ヒマスノデ、是非希望シテ居ルノデスカラドウゾ……

○委員長(伯爵後藤一藏君) 國民貯蓄獎勵局長ガ、説明員トシテ説明ヲ致シタイト云フコトデアリマスガ、之ヲ許シテ宜シウ

○諸橋久太郎君 先程大藏大臣ニハ、信用組合ト云フ御言葉ガアリマシタノデ、私ハ信用組合ニ關係アル者デゴザイマスガ、信用組合ノ運行ニ付キマシテハ、産業組合ニ入リマスノデ、農林省ノ主タル主管ニナツテ居リマスガ、又一面金融機關トシテハ大藏

○諸橋久太郎君 只今ノアレデハ、既ニ專管ニナサル時機ガ到來シテ居ルノデハナイカト思ヒマスノデ、是非希望シテ居ルノデスカラドウゾ……

○委員長(伯爵後藤一藏君) 國民貯蓄獎勵局長ガ、説明員トシテ説明ヲ致シタイト云フコトデアリマスガ、之ヲ許シテ宜シウ

○委員長(伯爵後藤一藏君) 國民貯蓄獎勵局長ガ、説明員トシテ説明ヲ致シタイト云フコトデアリマスガ、之ヲ許シテ宜シウ

○委員長(伯爵後藤一藏君) 國民貯蓄獎勵局長ガ、説明員トシテ説明ヲ致シタイト云フコトデアリマスガ、之ヲ許シテ宜シウ

○委員長(伯爵後藤一藏君) 國民貯蓄獎勵局長ガ、説明員トシテ説明ヲ致シタイト云フコトデアリマスガ、之ヲ許シテ宜シウ

○委員長(伯爵後藤一藏君) 國民貯蓄獎勵局長ガ、説明員トシテ説明ヲ致シタイト云フコトデアリマスガ、之ヲ許シテ宜シウ

ゴザイマス

〔異議ナシ〕と呼フ者アリ

○説明員(栗原修君) 國民貯蓄獎勵ノ……

○子爵野村益三君 此ノ何デスネ、國民貯

蓄増加額調「下」云フモノヲ私頂戴シテ居リマ

スガ、今御持合セガゴザイマセヌカ、出來

ルナラバ之ヲ持ッテオイデニナラナイ方ニ

御配付ヲ願フデ、御説明ヲ承ルト非常ニ宜

イト思ヒマス、併シ皆サン御持チナラ宜シ

ウゴザイマス

○委員長(伯爵後藤一藏君) 先日缺席ノ委

員ノ方ニ御配付スルヤウニ、サツキ政府

ノ方ニ御願ヒシタノデアリマスガ、皆

サン御受取ニナリマシタカ、参考書類

ヲ……

○侯爵小村捷治君 私ハ缺席シタカラ戴イ

テ居リマセヌ

○委員長(伯爵後藤一藏君) ソレデハ政府

委員ノ方カラ御渡シヲ願ヒマス、只今御渡

シスルダケノ部數ガアリマセヌサウデアリ

マス

○子爵野村益三君 ソレデヤ其ノ御心持デ

御説明ヲ願ヒマス

○説明員(栗原修君) 國民貯蓄獎勵運動ノ

現狀ニ付キマシテ御説明申上ゲマス、此ノ

獎勵運動ハ昭和十三年ニ開始サレタノデゴ

ザイマシテ、其ノ當時ニ於キマシテハ中央

ニ國民貯蓄獎勵局ト云フモノヲ設ケマシテ、

又諮問機關ト致シマシテハ貯蓄獎勵委員會

ヲ設ケマシテ、之ニ當時ノ國民精神總動員

中央聯盟ト云フモノヲ外廓團體ト致シマシ

テ、大體ノ機構ヲ備ヘマシタ、地方ニ於キ

マシテハ道府縣ノ中心ト致シマシテ、之ニ

配スルニ國民精神總動員地方實行委員會ト

緊密ナ連絡ヲ執リ、又一方ニ於キマシテハ

各種産業團體、教化團體、宗教團體、或ハ報

道機關、其ノ他ノ有ラユル機關ノ協力ヲ求

メマシテ、サウシテ此ノ運動ヲ開始致シタ

ノデゴザイマス、現在ニ於キマシテモ、大

體ノ機構ト致シマシテハ從來通りノ形ヲ

執ッテ來テ居ルノデゴザイマスガ、唯國民精

神總動員本部ガ解消致シマシタ結果、大政

翼賛會ト連絡ヲ執ルト云フヤウナコトガ

アツタノデアリマス、運動ノ機關並ニ之ニ配

スル協力團體等ノ活動ノ機構ハ、大體只今申

シマシタヤウナ狀態デゴザイマス、ソレデ

今日迄ヤッテ居リマスコトハ、大體ニ於キマ

シテ愛國運動ト申シマスガ、サウ云フヤウ

ナ運動ノヤリ方デ參ッテ來テ居ルノデゴザ

イマシテ、此ノ運動ノ方針ト致シマシテハ、

一面ニ於キマシテ時局ノ認識ヲ深メテ、サ

ウシテ國民貯蓄ノ重要性ヲ國民ニ十分ニ認

識セシメルト云フコトヲ說キマス共ニ、

他面ニ於キマシテハ國民貯蓄組合ノ結成強

化等ヲ獎勵致シマシテ、之ヲ運動推進ノ足

場ト致シ、又其ノ他ノ指導方針ト致シマシ

テハ、獎勵ノ運動ノ開始以來、段々ニ其ノ

深度ヲ深メテ運動ガ細部ニ滲透スルヤウ

圖ッテ參ッテ居ルノデゴザイマスガ、本年度

ノ貯蓄獎勵ノ重點トシテ指導致シテ居リマ

スコトハ、個別ノ目標額ヲ立テシムルコト、

或ハ能力ニ應ジタ貯蓄ヲ爲サシムルコト、

又從來ノ貯蓄ノ繼續ヲ爲サシムルコト、又

昨年ハ光輝アル紀元二千六百年ノ歲ニ當リマ

シタ爲ニ、其ノ記念ノ貯蓄ヲナサシムト云

フヤウナ貯蓄ノ方法ニ付キマシテ、指導致

シマシテ今日ニ至ッテ居ルノデゴザイマス

ルガ、其間更ニ六月ト十二月ニ於キマシテ

ハ、例年特ニ購買力ノ膨脹スル時期デゴザ

イマスノデ、此ノ時期ニ於キマシテハ、之

ヲ抑制スル等ノ爲百二十億貯蓄ノ強調週間

又ハ百二十億貯蓄達成運動ト云フヤウナ名

稱ヲ掲ゲマシテ、強ク國民ニ呼掛ケル、又

此ノ時期ハ會社等ノ賞與支給期デアリマス

ル爲特ニ國債ノ消化ニモ意ヲ用ヒマシテ、

賞與其ノ他ニ對シマスル國債支給運動ト云

フモノヲ特別ニ行ヒマシテ、國債消化ニ資

セシメルト云フコトニ致シタノデアリマス、

尙今日ニ於キマシテモ有ラユル手段ヲ以チ

マシテ國民ニ貯蓄ノ重要性ヲ浸透サセ、又

貯蓄ノ實行ヲ指導シテ居ル現狀デゴザイマ

ス

○子爵野村益三君 此ノ現在高若クハ増加

額、之ニ付テノ計數ノミデナク、此ノ邊ノ

移リ變リト言ヒマスガ、情勢、事情ト言ヒ

マスガ、サウ云フモノノ御説明ガ願ヒタイ

ト思ヒマス

○説明員(栗原修君) 御承知ノヤウニ最初

ニハ八十億圓ノ貯蓄ヲナスト云フ目標ヲ掲

ゲテ貯蓄ノ運動ヲ致シタノデゴザイマス、

丁度昭和十三年度ニ於キマシテ八十億圓、

昭和十四年度ニ於キマシテハ百億圓、昭和

十五年度ニ於キマシテ百二十億圓ト云フ目

標ヲ掲ゲマシテ、主トシテ國債消化資金並

生産力擴充資金ノ調達、ソレニ昭和十五年

度ニ於キマシテハ、特ニ購買力ノ吸収ノ爲

ニ一段ト資金ヲ吸收スルト云フ必要ヲ認メ

マシテ、是等ヲ合セマシテ百二十億圓ト云

フコトヲ目標ト致シタノデゴザイマス、デ

之ニ對シマシテ昭和十三年度ニ於キマシテ

ハ七十三億三千餘萬圓ト云フ成績ヲ舉ゲマ

シタ、昭和十四年度ニ於キマシテハ百二億餘

萬圓ト云フ成績ヲ舉ゲテ居ルノデゴザイマ

ス、昭和十五年度ニ於キマシテハ上半期ノ

分、即チ四月カラ九月迄ノ間ニ於キマシテ

六十三億六千萬圓ト云フ成績ヲ舉ゲテ居ル

狀況デゴザイマス

○子爵野村益三君 サウシマス、大體今

迄ノ成績ヲ見マス、下半期ノ方ガ幾分か

多イノデ、從ッテ今仰セラレタヤウニ十五年

度ノ上半期ハ六十三億、サウスレバ下半期

ハ是ヨリモ多イ、即チ百二十億ノ目標ト云

フモノハ、優ニ突破スル、斯ウ云フコトデ

宜シウゴザイマスネ

○説明員(栗原修君) 大體十三年度、十四

年度ニ於キマシテハ御話ノゴザイマシタ通

リニ、下半期ガ上半期ヨリ好イ成績ヲ舉ゲ

テ居ルノデゴザイマス、十五年度ニ於キマ

シテハ、矢張り是同ジヤウナ筋途ヲ辿ル

カドウカト云フコトニ付キマシテ、私共モ

考ヘテハ居ルノデゴザイマスガ、御承知ノ

ヤウニ昨年度ニ於キマシテハ若干預金ノ

増勢ノ鈍化ヲ見タ事情モゴザイマシタノデ

アリマスケレドモ、併シナガラ本年度ニ

於キマシテモ、百二十億圓ヲ突破スルト云

フコトハ確實ニ見込ハ立テ得ルノデハナイ

カト考ヘテ居ルノデゴザイマス

○子爵野村益三君 モウ少し立入ッテ承リ

タイノデアリマスガ、時間ノ關係モアリマ

スカラ、私ハ此ノ程度デ止メテ置キマス

○子爵立花種忠君 團體貯蓄ト言ヒマスガ、

ヨク聽エマセヌデシタガ、先程藏相カラ工

場等ノヤウナ所デ主トシテヤルト云フ御話

デゴザイマシタガ、只今御説明ヲ伺ヘバ全

國ノ町會トカ、色々ナモノヲ團員トシテ爲

サルノデヤナイカト思フノデス、サウ承知

シテ宜シウゴザイマス

○説明員(栗原修君) 團體トシテ貯蓄團體

ヲ組織セシメテ、貯蓄ヲ獎勵スルト申シマ

スコトハ、國民貯蓄組合ヲ結成セシメマシ

テ、其ノ團體ノ組織ノ下ニ貯蓄ヲ爲サシム
ルト云フコトト拜察致スノデゴザイマスガ、
只今國民貯蓄組合ノ結成ヲ獎勵致シテ居リ
マスノハ、左様ナ見地カラ致シテ居ルノデ
アリマス、御話ノ工場等ニ於キマシテモ矢
張り貯蓄組合ノ結成致シマシテ、ソレニ依
リマシテ貯蓄ノ實行ヲ獎勵致シテ居ル、斯
ウ云フ狀況デゴザイマス

○子爵立花種忠君 今迄チヨイ／＼耳ニシ
テ居ルコトモアルノデスガ、此ノ國債ヲ町
會ナドデ纏メテ買ツテ、皆サンニ買ツテ貰
ウト云フヤウナコトヲヤッテ居ル所ガアル
トシマシテ、是ハ實例ガアリマスガ、今日
ハ申シマセヌガ、其ノ家ノ都合デ買ヘナイ
人モアリマセウ、相當ナ門構ヘヲシテ居ッ
テモ、時局ノ色々ナ關係上他ニ國債ヲ買フ
云フ餘力ガナイト言ヒマスガ、何カノ原因
デ買ハナイ人ガアリマス、ソレヲ國賊呼
バハリスルヤウナ一、二ノ例ヲ私聞イテ居
ル、若シモサウ云フコトガアツトシマス
レバ、將來ノ國債消化ノ上ニモ非常ナ惡イ
影響ヲ及ボスノデハナイカト、斯ウ云フ
ヤウニ私ハ石ヘテ居リマス、ソコデ若シ
此ノ法案ヲ今後御出シニナルニ付キマ
シテハ、サウ云フコトハ絕對ニナイヤウ
ニ爲サレマセヌト、國債消化上ニ大障害
ヲ來ス、斯ウ云フ風ナコトヲ考ヘテ居リマ
スノデ、一言申上ゲテ置キマス、是ハ少シ
例ガ違ヒマスガ、例ヘバ米ノ問題ニシマシ
テモ、或人ガ、奥サンガ病院ヘ入ッテ居ッ
テ、退院ヲシテ來タ、ソレデ一人殖エタ、
退院シテ來タカラ米ヲ廻シテ貰ヒタイ、
斯ウ世帯主カラ米屋ニ言ツタガ、米屋ハ米ヲ
呉レス、仕方ガナイカラ警察官ニ懇ヘタ、
警察官曰ク、病後ナンダカラマアソナニ

食ヘマイカラ我慢シロ、斯ウ言ツタノデアリ
マス、如何ニ病後ト雖モ矢張り人間生キテ
居ル以上ハ食物ガ要ル、ソレカラ新タニ來
タ小僧ト共ニ二人分載キタイ、小僧ノ方ハ
働カラヤラウ、併シ病後ノ者ハ何モ食ハ
ヌデモ宜イデヤナイカ、國家ノ非常時ダト云
フヤウナコトヲ言ハレテ、非常ニ憤慨シテ、
何處カ上ノ方ヘ懇ヘテ解決シタト云フコト
ヲ聞イテ居リマスガ、是ハ例ガ違ヒマス、
ソナナ風ニ上ノ方デハサウ云フコトハ御考
ヘニナッテ居ラヌデセウケレドモ、下ノ方ニ
ハ到ル處間々妙ナ問題ガ起リマス、今ノ此
ノ團體貯蓄ニ付キマシテモ、國債消化ニ微
妙ナ關係ヲ及ボス問題デアリマスカラ、斯
ウ云フコトハ特ニ御注意アッテ然ルベキカ
ト考ヘマスカラ、是ハ別ニ御答ヘ要リマセ
ヌガ、心付キヲ申上ゲテ置キマス、ソレカ
ラ先程野村子爵カラ強制的ニ公債ヲ買ハセ
ルヤウナコトハナイカト云フヤウナ御質問
ノヤウニ、遠クノ方デ伺ヒマシタガ、衆議
院デ大分質問致シテ居リマスガ、強制的ニ云
言葉ハヨクアルマイト思ヒマスルケレドモ、
私ハ重大ナル時局下ニ於テハ、國民ハ寧ロ
義務のニヤルノガ當然ダ、ソレカラ是ハ政
府トシテ其ノ御心配ハ……強制的ニ云フコト
ハシナイノダ、無論スルトハ仰シヤイマス
マイガ、ソレ程迄ニ強ク仰シヤイマセヌデ
モ、今日ノ此ノ時局ヲ突破スルニハ國民ノ
精神力ヨリ外ニハナイノデス、即チ其ノ精
神力ヲ以テヤルニ付テハ、或程度迄ハ強制
的ニ買ハセル位ノ覺悟デナケレバ、國民モ
亦強制ヲ受ケル前ニ於テ、義務のニ之ヲ買
フト云フコトガ當然ダと思フノデス、併シ
是ハハッキリマダ讀ンデ居リマセヌガ、衆議
院ノ速記録ニハ、強制的ト云フコトハ言ハ

スト言フコトヲ頻リニ仰シヤイマスケレド
モ、ソレ程迄ニ恐レテ仰シヤル必要ハナイ、
半バ強制的ニハ仰シヤッテモ宜イノデヤナイ
カト考ヘテ居リマスケレドモ、之ヲ唯自分
ノ意見トシテ申上ゲテ置キマス

○子爵野村益三君 議事ノ進行ニ付テ申上
ガタイノデスガ、モウ大シタ御質問ガナイ
ヤウデスガ、次ニ御移リニナッタラドウデス
カ

○男爵大藏公望君 關東州ノコトデチヨッ
ト伺ヒタイノデスガ、ドナタカ關東州ノ方
ハオイデデスカ、對滿事務局カ何カノ政府
委員ハ居ラレマスカ、出來マスナラバ對滿
事務局ノ次長ニオイデヲ願ヒタイト思ヒマ
ス

○委員長(伯爵後藤一藏君) 只今呼ビニ
行ッテ居ルサウデスカ……

○下條康麿君 此ノ三條ニアリマス「前二
條ノ制限以外」ト言ヒマス云フト、十八
年度ニ公債ヲ發行スル場合モ出來ルカト思
ヒマスガ、ドウ云フモノデゴザイマセウカ

○政府委員(廣瀬豐作君) 第三條ニ書イテ
アリマスル規定ハ、發行ノ價格差減額ヲ補
填スル爲必要アル場合ニ發行シ得ルト云フ
ノデアリマシテ、是ハ結局此ノ法ノ精神ハ、
第二條ニアリマスル十六年度及十七年度
ニ於テ起債ヲ致シマスル際ニ於テ、手取ガ
丁度此ノ第一條ニ規定シテアリマスル金額
ニ充シ得ル迄、其ノ發行差減額ヲ額面ノ上
ニ於テ増加シテ發行シ得ルト云フ意味合デ
アリマシテ、結局發行シ得ル年限ハ、矢張
リ十六年度及十七年度内ニ於テ爲シ得ル
ト云フコトニ解釋致シテ居ル次第デアリマ
ス

○下條康麿君 サウシマスルト、前二條ニ

アル第一條ノ制限以外デ、此ノ趣旨ガ達セ
ラレルノデハナイカト思ヒマスガ、如何デ
ゴザイマスカ

○政府委員(廣瀬豐作君) 第一條ニ於キマ
シテハ、起債シ得ル金額十八億五千幾ラト
アリマスノハ、從來ヨリ是ハ國債ノ額面額
ヲ以テ押ヘテ居リマスルノデ、最近ハ御承
知ノヤウニ、額面百圓ノ國債ヲ九十八圓又
ハ九十八圓五十錢ト云フ價格デ發行致シテ
居リマス、從ヒマシテ二圓乃至一圓五十錢
ト云ツタヤウナ差額ガソレダケ手取ガ少ク
ナル譯デアリマスルカラ、サウ云フ狀態デ
額面十八億五千九百三十萬圓ヲ發行致シマ
シタノデハ、現金デ手取ガ丁度十八億五千
九百三十萬圓ハ國庫ノ收入ニナラヌ譯デア
リマス、ソレデ其ノ差額ハ、第三條ニ依ッテ
發行シ得ル、是デ此ノ第一條ト第三條ニ依
リマシテ、漸ク現金ノ手取ガ十八億五千九
百三十萬圓ニナリ得ル譯デアリマス

○下條康麿君 私ノ質問ハ、第一條ハ發行
限度ヲ決メタモノデ、第二條ハ年度ノ繰越
ヲ決メタモノト思ヒマス、ソレデ第一條ノ
發行限度ヲ超エテ發行シ得ルコトサヘ第三
條ニ書ケバ第二條ガ當然働イテ來ルノデヤ
ナイカト思フノデスガ、ソコヲ伺ヒタイノ
デス

○政府委員(廣瀬豐作君) 第二條ノ規定ハ、
大體第一條ノ規定ガ、十六年度ノ一般會計
歲出ノ財源ニ充ツル爲トアリマスノデ、第
二條ガアリマセヌケレバ、原則トシテ十六
年度内ニ起債ヲ致スト云フ解釋ニ從來ハ取
扱ッテ居ルノデアリマス、十六年度ノ財源ニ
充ツベキ公債ヲ翌年度、即チ十七年度ニ於
テ發行スルト云フコトハ、在來ノ起債法ノ
解釋ト致シマシテハ、出來ナイト云フ解釋

ヲ致シテ居リマス、從ヒマシテ第二條ニ十七年度ニ於テモ發行シ得ルト云フ規定ガアツテ、初メテ翌年度ニ於テモ發行シ得ルト云フ解釋ニナルノデアリマシテ、是ハ從來ノ第一條ノ起債法ノ解釋ノ關係上、第二條ヲ置イタヤウナ次第デゴザイマス

○下條康慶君 第三條ノ今ノ「前二條ノ制限」ト云フコトニハ、先程御答ガアツタヤウニ、十八年度ハ入ラナイ譯デスネ、十六、十七ダケデ済マス……

○政府委員(廣瀬豐作君) 政府ニ於テハ左様解釋致シテ居リマス

○委員長(伯爵後藤一藏君) 他ニ内地ノ方面ノ關係ノ法案ニ付テ御質疑ハアリマセヌデスカ、ナケレバ外地方方面ニ移リマス

○男爵大藏公望君 臺灣ノ方ノ政府委員ガオイデニナツテ居リマスカラ、臺灣ノ方カラ先ニオヤリ下サツテモ……

○委員長(伯爵後藤一藏君) ドナタカ御質問ガゴザイマシタラ、臺灣ノ總務長官ガオ見エニナリマシタカラ、其ノ方面ニ付テ御質問ヲ願ヒマス

○子爵野村益三君 サウスルト例ニ依ッテ仕事ノ内容ト云フヤウナコトニ付テ御説明ヲ願ッテ見タイト思ヒマス

○委員長(伯爵後藤一藏君) ソレデハ總務長官カラ一應ノ御説明ヲ伺フコトニ致シマス

○政府委員(齋藤樹君) 公債支辨事業ノ大要ニ付キマシテ御説明ヲ申上デマス、近年ノ臺灣ニ於ケル産業ノ發展ハ、時局ニ刺戟サレマシテ非常ニ活況ヲ呈シテ居リマス、自然交通施設モ整備ガ要求サレテ居リマスノデスカ、現在ニ於キマシテ鐵道ノ輸送能力ハ、全ク飽和狀態ニ達シテ居ルノデアリ

マス、殊ニ臺灣ノ鐵道ニ付キマシテハ、殆ド根本的ナ改善ガ從來行ハレテ居リマセヌ爲ニ、物資ノ増加ニ對シマシテ、到底輸送力ガ追隨シ得ナイト云フ現狀デアアルノデアリマス、殊ニ現在ノ情勢カラ最モ力ヲ注ガナケレバナリマセヌ、米、砂糖、石炭其ノ他ノ物資ノ輸送ニ支障ガ生ジ、或ハ又生産力ノ積極的擴充、本島工業化ノ實施ト云フヤウナ仕事ニ對シマシテ、圓滑ナ遂行ガ望ミ得ナイヤウナ危險モアルノデアリマス、ソレデ現在ノ情勢ニ適應致シマシテ、臺灣交通諸施設ノ急速ナル整備改善ヲ圖ルコトガ必要ニナツテ參タクノデアリマス、政府ハ曩ニ第七十五帝國議會ニ於キマシテ御協賛ヲ得テ、鐵道ノ建設及停車場ノ改良ヲ公債支辨トシテ著工致シタノデアリマスルガ、今回更ニ此ノ上ニ追ヒカケマシテ、改良ノ計畫ヲ立テマシタ、鐵道ノ改良ハ工事費ガ七百萬四千八百八十四圓ノ經費ヲ以テマシテ、車輛ノ増備、鐵道線路ノ強化、通信設備ノ整備、機關庫ノ増設、工場設備ノ擴張、荷役設備ノ整備、從業員敎習所ノ新築ト云フヤウナ仕事ヲシヨウトスル計畫デアリマシテ、其ノ所要經費ノ一部ヲ公債財源ニ求メヨウトスルモノデアリマス、昭和十六年度ノ輸送見込量ハ十五年度ノ見込量ト比較致シマスルト、旅客ニ於キマシテ約一億七千七百萬人「キロ」、人員ニ致シマシテ約五百八十萬人、貨物ハ約六千二百萬「トン・キロ」、「トン」數ニ致シマシテ約五十九萬「トン」増加スル見込デアリマスノデ、此ノ數字ヲ標準トシテ、線路其ノ他ノ施設ヲ増強シ、車輛ニ於テハ、機關車十一輛、客車十三輛、貨車四百三十輛ヲ増備致シマシテ、輸送力ノ增強ヲ圖リ、之ニ依リマシテ日ヲ逐ウテ

增加シテ參リマス輸送量ニ對處セムトスルモノデアリマス、尙詳細ノ點ハ參考書ノ中ニソレレ、記載シテゴザイマスシ、又御質問ニ應ジマシテ御説明申上ゲルヤウニシタイト存ジマス

○侯爵小村捷治君 只今御配付下サイマシタ參考書ノ中ニ、附圖ガ附イテ居リマス、臺灣鐵道略圖、其ノ中ニ赤字デ書イテゴザイマスノガ、此ノ新計畫ニ屬スルモノデゴザイマセウカ

○政府委員(中島一郎君) 便宜私ヨリ説明申上デマス、是ハ甚ダ申譯ナイト存ジマスガ、少シ違ッテ居リマシテ、此ノ中一二今度ノ公債ニ關係ノナイモノガゴザイマスノデ、ソレヲ申上デマス、一番右下ニ「高雄臺東線自動車運輸事業創始」トゴザイマス、是ハ此ノ間ニ總督府營ノ自動車經營ヲ十六年度カラ致スコトニナツテ居リマスルガ、是ハ公債ニ關係ガナイモノデゴザイマス、ソレカラ一番右上ノ「基隆附近改良工事」ト云フ下ニ「瑞芳驛改良工事」、ソレカラ其ノ右ラズット下リマシテ、中程ニ「花蓮港臨港線建設工事」、ソレカラ西部ノ方デハ上カラ三番目ノ「中壠驛改良工事」、ソレカラ西部ノ下カラ三ツ目ノ「斗南驛改良工事」、以上申上ゲマシタモノハ直接今度ノ鐵道改良費ノ中ニハ入ッテ居リマセヌ

○侯爵小村捷治君 是ハ餘リ大キナ問題デゴザイマセヌノデ、ドナタカラノ御答辯デモ結構デゴザイマス、此ノ中ニ例ヘバ、只今御説明下サイマシタノデモ分リマスガ、花蓮港ノ臨港線ト云フヤウナモノモ之ニ入ッテ居ラズ、又此ノ赤字ニ新高港ノ臨港ト云フコトハ全然ゴザイマセヌガ、マダ其ノ方ノ築港ガ進ンデ居ラナイ結果デゴザイマセ

ウカ、念ノ爲ニ承ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(中島一郎君) 御示シノ花蓮港ノ臨港線建設工事、是ハ今度ノ公債ニハ關係ゴザイマセヌガ、普通財源ヲ以テ十六年度カラ著手致スコトニナツテ居リマス、尙蛇足デゴザイマスガ、花蓮港驛ノ改良工事ハ十五年度ニ致スコトニ相成ッテ居リマシテ、著々工事ガ進ンデ居ルヤウナ次第デアリマス、ソレカラ第二段ノ御示シノ新高港ニ關スル築港ニ關聯シタル鐵道ノ建設又ハ改良工事ト申シマスノハ、是ハ十五年度カラ繼續計畫ヲ以テ著手致シマシテ、大體此ノ地圖ニ御覽願ヒマス通り、此ノ龍井或ハ追分、是カラ左上ノ方ニ出デ居リマス、斯ウ云フ臨港線ヲ數キマシテ、ソレニ附加ヘマシテ、驛ノ改良及相當大規模ノ中部操車場ヲ建設致スコトニナリマシタ、十五年度ヨリ著手致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○子爵野村益三君 臺灣ノ鐵道建設、大キク言ヘバ交通對策デスカ、此ノ地圖ヲ拜見シテモ十年前以前ト餘リ變ラナイヤウデアリマス、何カ豫定線ト云フモノヲ御立デニナツタノデアリマスカ、道路ノ方モ今年ノ豫算ダト云フト、貫通道路ヲ目論マレタヤウデアリマスガ、是ハ十年前カラ我々ハ早クシナケレバナラス、産業ノ開發カラ言ッテモ、文化ノ普及カラ言ッテモ、此ノ貫通道路ト云フモノヲ開カケレバナラスト云フコトハ十年前カラ言ッテ居ル、ソレト共ニ蘇澳、花蓮港トノ間ノ鐵道、是ハ非常ニ難工事デアリマスガ、是ハ僅カニ海上ニ依ッテ連絡スルト云フノデハドウモ物足リナイ、何トカシテ是ハ施設ガ出來ナイカト云フヤウナコトハ前カラ心配シテ居ルノデアリマス、今ノ御話ノヤウニ、サシモノ難工

事デアル貫通道路モ開カウト云フ意氣込ミ
デ努力サレテ居リマスノデスガ、從ツテ從來
ノ難問題デアル所ノ蘇澳、花蓮港、斯ウ云
フ方面デモ出來ルダケ工事ヲ御進メニナル
ト云フ御豫定ハ立タヌノデアリマスカ、又
ハ大キク言ヘバ交通政策、鐵道政策ニ其ノ後
進展ヲ見テ居ラレノカ、舊來ノ儘デア
ルカ、御目論見トシテハドウデア
ルカト云フ
ヤウナコトヲ伺ヒタイ

○政府委員(齋藤樹君) 御答ヲ申上ゲマス、
正直ニ申上ゲマスレバ、鐵道ニ付キマシテ
大キナ計畫ハ從來採ツテ居ラナカッタ、恐
ク其ノ主タル理由ハ、東部方面ニ於ケル花
蓮港・蘇澳間ノ鐵道ノ如キモ、又南ノ方ノ連
絡ノ如キモ産業的ノ價值ガ比較的少クシテ、
サウシテ而モ非常ナル難工事デアルト云フ
理由ニ基イテ居リタト存ジマス、先程モ申上
ゲマシタヤウニ、新設ノ計畫ヲ持チマセ
バカリデナシニ、此ノ領臺以來鐵道ノ改良
ニ付キマシテハ、幹線ニ對シテモ改良ノ手
ノ加リマシタコトハ極メテ少イ、ドナタデ
モ臺灣ニ御渡リニナツテ、臺灣ノ鐵道ニ御乘
リニナリマスト云フト、是デモ鐵道カト云
フ感ジヲ御持チニナルヤウデアリマス、然
ルニ今回ノ事變ニ促進セラレマシテ、國防
上ノ立場カラモ、竝ニ躍進致シマス産業上
ノ要求カラモ、何等カノ考慮ヲ廻ラサナケ
レバナライ場合ニ今日ハ立至ツテ居ルノ
デアリマス、只今御話ノ出マシタ蘇澳、花
蓮港ノ間ノ鐵道ノ如キモ、從來ノ標準カラ
致シマス、チヨット手ノ著ケニクイ非常ナ
ル難工事デアリ、同時ニ産業上ノ要求モ比
較的少カッタカノヤウニ承ツテ居リマスガ、
今日ノ情勢ハ餘程變ツテ參ツテ居リマスノデ、
今後ソレ等ノ點ニ付キマシテ、十分技術的

ノ研究ヲ重ネマシテ、計畫ガ立チ得ルモノ
デアラナラバ、成ルベク速カニサウシタ建
設計畫モ立テテ、全島的ノ交通政策ト云フ
モノニ新生面ヲ吹キ込ムヤウナコトモシナ
ケレバナライ、斯様ニ考ヘテ居リマス、
唯今日ノ所迄ヲ正直ニ申上ゲマスレバ、殆
ド何モ持ツテ居ラヌト白狀致シマスルヨリ
外仕方ガナイ

○子爵野村益三君 直接ニ此ノ鐵道ノコト
デアリマセスガ、交通政策ト云フコトニ言
及シタノデ序ニ伺ヒタイノデスガ、例ノ十
六年度ニ御目論見ニナツタ貫通道路、是ハド
ウ云フ設計デ、何時迄ニ完成サレル御見込
ナンデアリマス、カ、是ハ非常ニ我々ニ取ツテ
重大ナ關係ヲ持ツテ居ルト思ヒマス

○政府委員(中島一郎君) 便宜私ヨリ御
答ヘ申上ゲマス、中部橫斷道路ハ、所謂能
高越エト申シマス能高山ヲ越エテ、臺中ノ
方カラ花蓮港ニ出ルト云フ計畫ニ相成ツテ
居リマス、總費額九百萬圓、八箇年位ヲ要
シマスカト存ジマス、大體七十「キロ」餘リ
ノ間ノ工事ニナリマシテ、其ノ前後ハ或ハ
產金道路トシテ、或ハ水力發電ノ工事ノ爲
等ノ關係デ、既ニ著手致シマシタモノデ、
殘ツテ居リマス七十「キロ」餘リト云フモノ
ヲ今度開鑿致スト云フ計畫ニ相成ツテ居リ
マス、デ大體御承知ノ通り能高ハ一萬尺ヲ
遙カニ超エル山デアリマスノデ、其ノ途中ニ
於キマシテ約二箇所程ノ「トンネル」ヲ掘リ
マス豫定デ、經費トシテハ之ヲ掘ルノガ一
番主ナル經費ニ相成ツテ居リマス、是ガ完
成致シマスレバ、自動車デ臺中カラ花蓮港迄
約七時間、若シ鋪裝ガ出來マシタナラバ五
時間位デ到達出來ルト云フ計畫ニ相成ツテ
居リマス

○子爵野村益三君 只今ノ所デハ、只今ノ
設計デハ無論「トラック」モ差支ナイコトニ
ナツテ居リマスネ

○政府委員(中島一郎君) 左様デゴザイマ
ス

○子爵野村益三君 私ハ其ノ位ニシテ置キ
マス

○男爵大藏公望君 チヨット伺ヒタイノデ
スガ、此ノ御提出ニナリマシタ參考資料ノ
分ガ大體鐵道改良費ノ全部デアリマス、
此ノ以外ニマダ公債ニ依ラズシテドノ位ノ
金ヲ御使ヒニナリマス、カ、先程チヨット御
話ガアツタヤウデシタガ……

○政府委員(中島一郎君) 約七百二十萬圓
足ラズノモノガ所謂鐵道改良費トシテ豫算
ニ計上サレマシタ分デ、其ノ内三百九十萬圓
程ガ公債支辨ニ依ルト云フコトニ相成ツテ居
リマス、ソレカラ其ノ外ニ鐵道建設費トシテ
先刻申上ゲマシタ花蓮港ニ至ル花蓮港驛ノ
臨港線ノ建設、是ハ普通財源ヲ以テヤルト
云フコトニ相成ツテ居リマス、ソレカラ其ノ
外ニ停車場改良費ト致シマシテ、本年度ニ於
テ總額七百四十五萬圓ヲ追加致シマシテ、
先ヅ初メニ基隆驛ノ改良、ソレカラ其ノ外
瑞芳、中壢其ノ他斗南ト云フヤウナ最近輸
送量、或ハ貨物取扱、乘客ノ増加等ノ非常
ニ著シク殖エテ居リマスモノヲ著手致ス譯デ
アリマス、是ハ公債財源ニ關係ナク繼續費トシ
テ普通財源ヲ以テ支辨スルト云フ計畫ニ相成
ツテ居リマス、鐵道ノ改良或ハ建設ニ關スル
本年度著手致シマスモノハ大體其ノ程度デ
ゴザイマスガ、十三年度、十四年度中ニ著
手致シマシタモノデ、現在ヤツテ居リマス
モノハ、或ハ殆ド竣工致シ或ハ本年度ニ於
テ竣工致シ見込ミノモノモゴザイマス、其

ノ主ナルモノハ彰化屏東間ノ複線工事、ソ
レカラ前申上ゲマシタ新高港ノ臨港鐵道、
高雄ノ工業地帯ヲ連ネマス臨港鐵道、メレ
カラ矢張り是モ前申上ゲマシタ中部ニ於ケ
ル停車場ノ建設、ソレカラ高雄ノ少シ北ニ
南部ノ停車場ヲ矢張り建設致シテ居リマス、
ソレカラ驛ノ改良ト致シマシテハ、臺北驛
ノ改良、ソレカラ新竹驛ノ改良、高雄驛ノ
改良、大體ソコ等ガ只今ノ所ヤツテ居リマ
ス工事ノ中ノ目ボシイ仕事デアリマス

○男爵大藏公望君 此ノ豫算ヲ拜見シマ
シテ、私モ交通ニ付テハ多少ノ經驗ヲ持ッ
テ居リマスガ、之ヲ拜見シマスト非常ニ臺
灣ノ鐵道ニ付テノ計畫ガ消極的デアルヤウ
ナ氣ガスルデアリマス、例ヘバ御説明ノ
中ノ軌道改良工事デアリマス、軌道改良工
事ハ極メテ不完全デアリマス、列車ノ運轉
ノ安全ヲ期シ得ザルモノト云フヤウナ御
話ニナリマシテ、其ノ爲ニ幾ラ御使ヒニナ
ルカト云フト、アレダケノ鐵道ニ對シテ僅
カ五十萬圓足ラズシカ御使ヒニナラナイ、
保安設備改良工事、是ハ最モ必要デアリマ
スガ、當然大部分ハ第一種聯動ニナラナケ
レバナラヌト思ヒマス、僅カニ六萬
七千五百圓、殊ニ車輛ノ如キハアレダケノ
混雜、私ハマダ見マセスガ非常ニ混雜シテ
居リマス、其ノ全島ニ對シテ客車ヲ十
三輛シカ御造リニナラナイ、ドウモ其ノ他
全部拜見シマス、只今ノ御説明ニ依リマ
シテモ、驛並ニ停車場、構内設備等ノ改良
ニハ相當御使ヒニナルヤウデアリマス、是
ハ現地ヲ見マセヌト私何トモ申上ゲラレマ
セスガ、全般的ニモウ少シ本當ニ臺灣ノ鐵
道ト云フモノヲ立派ニ改良スルコトヲ御計
畫ニナリマセヌト、此ノ程度ノ小サナ改良

ヲ以テ御満足ニナッテイラシヤルコトハイ
ケナイノデヤナイカ、斯ウ云フ氣ガスルノデア
リマス、現地ヲ見マセズデ批評ヲ申上テハ甚
ダ相濟ミマセスケレドモ、是ダケノ參考書
ヲ拜見シテモ、如何ニモ御計畫ガ消極的デ
アル、先程モ野村君カラ御質問モアリマシ
タガ、非常ニムヅカシイデスケレドモ、是
ハ私共モ矢張り今日ミタイナ時局ニハ、延
バスヨリ外ハナイノデヤナイカト云フ考ヘ
ヲ持ッテ居リマスケレドモ、現在ヤッテ居リ
マス鐵道ハ、一朝何カアリマス、臺灣ガ
眞先ニ空襲ナリ何ナリヲ受ケルカモ知レナ
イノデ、其ノ時ノ鐵道ノ混雜ハ大變ナモノ
ト思ヒマスルガ、ソレガ御説明ニアルヤウ
ニ、列車運轉ノ安全ヲ期シ難キモノガア
ルト云フ程ノ不完全ナルモノデアリマスル
ナラバ、此ノ程度ノ線路改良費、軌道改良
費デハ到底足ラス、モット一層力ヲ御入レニ
ナッテハ如何デスカト云フヤウナ氣ガスル
ノデアリマス、唯資材ガ足りナイノデ、内
地ニ於キマシテモ、若シクハ其ノ他ノ地方
ニ於テモ十分ノコトガ出來ナイノデ、是ハ
已ムヲ得ナイト思ヒマスルガ、決シテ私モ
存分トハ申上ゲマセヌガ、ソコガ臺灣當局
ノ御働キノ然ラシムル所デ、十分ニ萬一ノ
時ニ備ヘルヤウナ鐵道改良設備ニ付テ、一
層一ツ御努力ヲ願ヒタイト云フコトノ氣ガ
スルノデアリマス、別段ニ御答辯ハ要リマ
セヌガ、自分ノ意見ヲ率直ニ申上ゲテ、ド
ウカ來年度以降ニ於キマシテモ、十分ニ一
ツ御願ヒ致シタイト云フコトヲ申上ゲテ置
キマス

○子爵野村益三君 只今大藏男爵ノ仰シ
ヤツコトハ全く同感デアリマスカラ、私
モ切ニ希望シテ置キマス

○政府委員(齋藤樹君) 只今ノ御鞭撻ノ御
言葉ヲ體シマシテ、臺灣ノ時局ニ依ッテ課セ
ラレマシタ使命ヲ、十分ニ達シ得マスルヤ
ウニ、交通政策ノ上ニモ十分ナ檢討ヲ加ヘ
マシテ、何レ更ニ又御協賛ヲ戴クヤウナコ
トニ致シタイト存ジテ居リマス

○委員長(伯爵後藤一藏君) 小村侯爵ハ何
カ御質疑ガゴザイマスカ

○侯爵小村捷治君 今考ヘテ居リマスガ、
齋藤サンニ何レ個人的ニ後デ伺フコトニシ
マシタ

○下條康麿君 參考書ノ第三頁ニ、「然ルニ」
ト云フ所ニ「臺灣財政ノ現狀ヲ以テシテハ」
トアッテ、ソレカラ項目ガ擧ッテ居リマス、サ
ウ云フ場合ニ繰入レルカラ、普通財源デハ
鐵道改良工事ノ方ニハ出來ナイコトニナッ
テ居リマス、例ヘバ臨時軍事費特別會計ニ
ドノ位繰入レマシタカ

○政府委員(中島一朗君) 二千四百萬位デ
ゴザイマス

○下條康麿君 其ノ繰入レ、臨時軍事費特
別會計ヘ繰入レルコトヲ減ラセバ、普通財
源デ出來ルノデヤナイカト云フヤウニ考ヘ
ラレマスガ、ドウ云フモノデスカ

○政府委員(中島一朗君) 此ノ際本年度ノ
御協賛ヲ願ッテ居リマスノハ此ノ新規ノ分
三百九十萬圓デアリマスカラ二千四百萬圓
ノ繰入ノ一部ヲ減スコトガ出來レバ、新シ
ク公債ノ御願ヲスル必要ハナクナル譯デゴ
ザイマス、併シ御承知ノ通り經費ノ性質ガ
軍事ニ對スル繰入デゴザイマスシ、殊ニ島
民ト致シマシテモ此ノ時局危急ノ際ニ應分
ノ其ノ負擔ヲ増シ、一般會計ニ對スル寄與
ヲスル、臨時軍事費ニ對スル寄與ヲスルト
云フコトハ當然ノコトデアリマシテ、喜ン

デ此ノ負擔ハ致シテ居ルヤウナ次第デアリ
マス

○下條康麿君 臨時軍事費繰入ニ反對スル
譯デハナイノデス、大變結構ダト思ヒマ
ス、唯一體其ノ程度ノ建設ハ、公債ニ依リ
改良スルノハ普通ノ事業上ノ收益ニ依ルノ
ガ原則デナイカト思ヒマス、ソレデアリマ
スカラ改良費ノ方ハ普通財源デ御賄ヒニ
ナッテ少シ臨時軍事費ノ方ヲ御繰入レヲ御
減シニナレバソレガ原則通り行クノデヤナ
イカト思ヒマス、ドウ云フ譯デスウ云フ風
ニサレタノカ私ニハ分ラナイ、唯金額ノ問
題デス、繰入ノコトヲ可否ヲ論ズルノデナ
イ、一ツ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(齋藤樹君) 御尤モナ御意見ト
存ジマス、臺灣ノ財政ガ獨立致シマスバカ
リデナシニ、臺灣カラ却テ一般會計ノ方ニ
繰入ヲ致シテ居リマスルト云フ事實ガ、臺
灣ノ今回ノ時局ニ當リマシテモ、臺灣ノ擔
テ居リマス使命ヲ高度ニ果スコトガ困難デ
アッタト云フヤウナ事情ヲ申述ベタ第一ノ
原因ダト私共モ考ヘテ居リマス、殊ニ今日
ノ時局ニ當リマシテ、各種ノ施設ヲ資材關
係、財政關係兩方面カラ手控ヘシナケレバ
ナラナイト云フヤウナ一般ノ傾向デアルノ
デアリマス、ケレドモ臺灣ノ關スル限リニ
於キマシテハ、今日ノ時局ガ重大ナレバ重
大ナ程、施設ハ急ガナケレバナラスノデハ
ナイカト云フ感ジヲ持チマシテ、或ハ場合
ニ依リマシテハ一般會計カラ臺灣ノ特別會
計ヘノ繰入サヘモ、此ノ時局ニ於テハ考ヘ
ナケレバナラス問題デハナイカト云フ程ニ
迄實ハ存ジテ居ルノデアリマスケレドモ、
ナカノ微力大藏省ノ賛成ヲ得ルコトモ出
來マセヌデ、今回ハ斯様ノ消極的ナ案ニナ

リマシタ譯デゴザイマス、將來出來得マス
ル限リ、臺灣ノ日本全部ニ對シテ負擔シテ
居リマスル責任ヲ果ス爲ニ必要ナル條件
ヲ整ヘマス爲ニハ、財政的ニモ十分ナ研究
ヲシテ行キタイト、斯様ニ存ジテ居リマス、
御鞭撻ノ御意見トシテ承ッテ、將來ニ處シ
テ行キタイト思ヒマス

○男爵大藏公望君 チョット速記ヲ止メテ
戴キタイ

○委員長(伯爵後藤一藏君) 速記ヲ止メテ
……

(速記中止)

○委員長(伯爵後藤一藏君) 速記ヲ始メマ
ス

○男爵大藏公望君 私ノ質問ハ是デ終リマ
ス

○子爵立花種忠君 簡單ナコトデスガ臺東
カラ高雄ノ方ニ參ル線ノ「バス」事業ガ創始
サレテ居ルヤウデアリマスガ、是ハ鐵道ヲ
御架ケニナラスト云フノハドウ云フ理由デ
アリマセウカ、又將來ハ鐵道ヲ敷設ショウ
ト云フ御考デアリマスカ、簡單デ宜ウゴザ
イマスカラ……

○政府委員(齋藤樹君) 將來ノ問題ト致シ
マシテハ、矢張り鐵道ハ敷設セナケレバナ
ラスト存ジマスガ、併シ是ハ産業上ノ要求
カラ致シマス、花蓮港、蘇澳間ノ鐵道ヨリ
モ更ニ産業價值ハ薄イ線デアリマス、從ッ
テ此處ノ鐵道建設ノ計畫ト云フモノハ今日
持ッテ居リマセヌ

○子爵立花種忠君 詰リ將來鐵道ヲ敷設ス
ルト云フ計畫ハナイト云フ譯デスネ

○政府委員(齋藤樹君) ハア

○委員長(伯爵後藤一藏君) 御質疑ゴザイ
マセヌカ

○諸橋久太郎君 臺灣ノ「タッキリ」溪ノ金山デスネ、アレハ公債ノコトニ最モ重要ナル關聯ガアルノデスガ、當時アノ發見ニ對シテハ產金ノ埋藏量ガ何十億トカ、何百億トカ云フヤウナコトデ我々國民トシテハ非常ニ欣喜雀躍シタ報道デアッタノデアリマスガ、現今ドノヤウナ狀態ニナツテ居リマセウカ、國家ノ財政トシテ非常ニ關心ヲ持タナケレバナラヌコトダト思ヒマス、總督府ノ直營ノ如キニ記憶シテ居ルノデアリマスカ、如何ナル狀態ニナツテ居リマスカ

○政府委員(齋藤樹君) 「タッキリ」溪ノ砂金段丘ノ發見ニ付テハ私共モ非常ナ期待ヲ懸ケテ居リマシタ、サウシテ現在ニ於テモ期待ハ懸ケテ居リマス、ソレデ昨年發見以來十五年度、十六年度ノ二箇年ニ互リマシテ、探礦ト申シマスカ、非常ニ龐大ナル面積デアリマスノデ、含有量ノ比較的多イ部分ヲ探リマシテ、其處カラ採集ニ著手スルト云フ方針ノ下ニ數十箇所起シテ居リマス、十六年度ニ於テモ之ヲ繼續スル計畫ニ相成ツテ居リマス、同時ニ非常ニ峻險ナ高イ所ニアリマスノデ、產金道路ノ開鑿ガ先決問題デアルト云フ理由ニ依リマシテ、十五年度產金道路ノ開鑿ニ著手致シタノデアリマス、產金道路モ十六年度中ニハ完成スル見込ヲ持ツテ居リマス、唯產金道路ハ昨年八月、九月ノ二回ニ互リマス臺灣トシテモ珍シイ暴風雨ノ被害ニ因リマシテ、其ノ前ニ開鑿致シマシタ部分ノ產金道路ハ殆ド全部ガ洗ヒ流サレマシテ、マア元ノ空阿彌ニ戻ツヤウナ狀態ニナッタノデアリマス、十六年度ニ於キマシテ、此ノ探礦ガ濟ミ、產金道路ガ完成致シマスレバ、ソレカラハ漸次金ノ採出ト云フコトガ始リ得ルト思ヒ

マス、其ノ埋藏量ト申シマスカ等ニ付キマシテハ色々ノ説ガゴザイマスノデ、ハッキリシタコトハ我々トシテハマダ分ツテ居リマセヌノデス、調査ノ結果ヲ御待チ戴キタイト存ジマス、ソレカラ此ノ部分ニ付キマシテハ蕃界デアリマスノデ、一般人ガ入リマス爲ニハ特別ノ警察許可ヲ必要ト致シマス、サウシタ關係モゴザイマシテ、此ノ調査等ハ全部總督府直接ノ事業トシテ、只今進行致シテ居ルヤウナ狀態デアリマス

午後零時八分散會
出席者左ノ如シ

委員長 伯爵後藤 一藏君
副委員長 男爵今園 國貞君
委員

伯爵德川 家正君
侯爵小村 捷治君
子爵清岡 長言君
子爵野村 益三君
子爵立花 種忠君
下條 康麿君
男爵大藏 公望君
男爵水谷川 忠麿君
有賀 光豐君
西野 元君
土方 久徵君
澁澤 金藏君
野村 德七君
板谷 宮吉君
飯塚 知信君
諸橋久太郎君

國務大臣 大藏大臣 河田 烈君

政府委員 大藏次官 廣瀨 豐作君
大藏省理財局長 竹内 新平君
大藏書記官 河野 一之君
大藏事務官 山住 克巳君
拓務書記官 中野 勝次君
朝鮮總督府政務總監 大野綠一郎君
朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君
臺灣總督府總務長官 齋藤 樹君
臺灣總督府財務局長 中島 一郎君
說明員 國民貯蓄獎勵局次長 栗原 修君